

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
16	太田 康彦（31）	<p>1. 田子の浦港の観光拠点整備について</p> <p>令和元年11月15日、田子の浦港は、みなとオアシスとしての登録が完了しました。みなとオアシスとは地域住民の交流や観光振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度が設立されています。住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が申請に基づき登録するものであり、令和6年4月21日現在、全国161か所の港湾が登録されています。</p> <p>静岡県内の港湾では7港、東部では田子の浦港、沼津港、下田港が登録し、様々な取組が続けられています。そして、沼津港、下田港はそれぞれに特色あふれる港の活用を展開し、広く全国へ発信し続けています。</p> <p>田子の浦港においても、かつての工業港としての機能に特化した港から、広く市民に親しまれる港への転換が進んでいます。富士山しらす街道や田子の浦漁協食堂、さらに本年度は漁網倉庫の移転に伴うプロムナード整備が着手されています。</p> <p>そこで、田子の浦という日本人にとって歴史的にも大変重要な存在であり、私たちの貴重な財産を将来にわたり資源として存続、発展させていくためにも、以下質問していきます。</p> <p>(1) 田子の浦港の観光拠点としての整備や事業として、ポートフェスタの開催やみなとオアシス登録の成果など、これまでの富士市の取組状況を伺います。</p> <p>みなとオアシスの制度は、地域住民の交流のみならず観光振興さらには災害支援、あるいは飲食、物販という商業機能まで及びます。同時に、広報業務、他のみなとオアシスとの連携が実施すべき業務として明記されています。</p> <p>(2) 田子の浦港と沼津港、下田港との連携について、また、それぞれのみなとオアシス設置者である沼津市や下田市との協力や連携についての取組はありますか。</p> <p>富士市と沼津市戸田、下田市は幕末のディアナ号の軌跡につながる歴史的な結びつきがあることは、昨年私の一般質問においてしずおか遺産への登録、さらには日本遺産への取組を求めているところでもあります。</p> <p>沼津市戸田では戸田みなと祭りがあり、下田市でも玉泉寺を拠点に歴史を伝える事業が重ねられています。</p> <p>(3) 富士市においても、沼津市、下田市との連携を強化し、港と幕末の史実を活用して観光振興につなげることを進めていくべきと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>ディアナ号が伝える史実を多年にわたり継承していくために、祭りへの招待や小学生の史跡巡りなどの取組があります。富士市においては田子浦地区のみなと祭りやポートフェスタなどの機会を捉え、郷土に記された史実を継承していくことが必要と考えます。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
16	太田 康彦（31）	<p>(4) 地域の祭りや港を舞台としたイベントにおいて、毎年継続した伝承活動を盛り込むことについての考えを伺います。</p> <p>本年4月、田子の浦港の観光振興について要望活動を行ない、その中で幾つかの提案をさせていただきました。各事業の目指すところは田子の浦港をさらに活用すること、そして回遊性、港間の連携、ストーリー性を付与することにあります。</p> <p>(5) 来年はディアナ号救助から170周年、2026年には田子の浦港開港から60年を迎えます。大きな節目となる年を飾るべく、将来に向かって田子の浦港の持続的な発展が約束されるような取組を開始する 때가来ていると思いますが、富士市としての取組を伺います。</p>	市長 及び 担当部長